

消費税引き上げにともなう負担緩和措置です

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

申請・問合せ先 福祉事務所社会福祉係（窓口⑥） ☎ 2216

平成26年4月から消費税率が8%に引き上げられたところですが、所得の低い方や、子育て世帯の影響を緩和するために、暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」を給付します。

給付対象者

平成26年1月1日時点で下田市に住民票があり、要件を満たしている方には、いずれかの給付金を給付します。ただし、生活保護を受けている方は除きます。

臨時福祉給付金

（所得の低い方の負担を緩和します）

平成26年度の市民税（均等割）が課税されていない方が対象となります。

※ただし、ご自身を扶養している方が課税されている場合は対象外です。

給付額

給付対象者一人につき **1万円**

下記に該当する方は

一人につき5,000円を加算

- ・老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金などの受給者、児童扶養手当、特別児童扶養手当、特別障害者手当などの受給者



子育て世帯臨時特例給付金

（子育て世帯の負担を緩和します）

臨時福祉給付金の対象外の方のうち、以下の要件を満たす方が対象となります。

- ①平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給
- ②平成26年度所得（平成25年中の所得）が児童手当の所得制限限度額未満

対象児童

支給対象者の平成26年1月分の児童手当・特例給付の対象となる児童

給付額

対象児童一人につき **1万円**



※この2つの給付対象判定基準となる平成26年度の市民税額・平成26年度の所得額が確定するのは6月中旬になります。

給付時期について

- ・6月下旬に給付金に関する書類（申請書等）を送付予定です。（公務員の方への子育て世帯臨時特例給付金の申請書等はお勤め先から配布されます）
- ・申請期間についてはおおよそ7月～9月の3か月間を予定しています。 ※申請方法など詳細については今後、広報しもだ・市ホームページでお知らせします。



FAQ（よくあるご質問）

平成26年1月1日の翌日以降、下田市に引っ越してきた場合の申請先は？

この2つの給付金は平成26年1月1日時点で住民票のあった市区町村から給付されます。具体的な手続き方法は1月1日時点にお住まいであった市区町村にお問い合わせください。

平成26年1月1日以降に生まれた場合や亡くなった場合は給付金の対象になりますか？

平成26年1月1日に生まれた方は対象となりますが、1月2日以降に生まれた方は対象となりません。また、1月1日から給付金の支給決定がなされるまでの間に亡くなられた方も支給の対象とはなりません。

給付金詐欺にご注意ください

市や国などがATM（銀行・コンビニなどの自動支払機）の操作をお願いすることはありません。市や国などが「臨時福祉給付金」の給付のために手数料などの振込を求めることは絶対にありません。



たっぷり楽しんでください！黒船祭！！

主要行事のほかにも、幕末タイムスリップな3日間を盛り上げる行事が目白押しです。



2年に1度！ 妹都市沼田市の沼田踊り！

黒船祭協賛行事

黒船祭を盛り上げる様々な行事をお楽しみください。
黒船祭美術展（8日～11日）黒船祭ゴルフ大会（18日）俳句大会（17日）囲碁大会（11日）日米親善ビーチバレー大会（18日）黒船祭サーフィンコンテスト（18日）黒船シーカヤック体験会（17日～18日）黒船アームレスリング大会（17日）切手展（13日～30日）将棋大会（25日）弓道大会（11日）グラウンドゴルフ大会（18日）

今年の黒船祭ポスターをご覧ください。可愛らしいペリー提督がにっこりと微笑ましい表情を浮かべています。黒船祭期間中、この子ども用の衣装を着て記念撮影をできるイベント、「キッズペリー変身コーナー」を開催予定です。詳細につきましては近日配布される黒船祭プログラムをご確認ください。

黒船祭開催の時期となりました。下田市の最大のイベントであり、まちの歴史、文化、交流、産業等の中核であります。国内外より多くの来賓の皆様、観光の皆様がお見えになります。官民一体、市民総出で「下田流おもてなし」を展開していきたいと思えます。来訪いただける皆様として、萩市・沼田市の姉妹都市やフラワー都市交流の皆様がいらっしやいます。都市間交流としてイベント等の交流のみならず、自治体の共助として「災害時の相互応援協定」を締結しています。日頃の交流においては双方の遠距離は不便ですが、広域災害の想定においては、遠方



快国航路

Vol. 17

の自治体は同じ被害を受けずに応援力を有するため有益です。災害が発生したときという時に、相互応援の関係性がうまく発揮できるためには、日常の交流を通して「顔の見える関係」を作っておくことが必要です。行政職員の人事交流を通して、相手の地域で暮らしたことがある、地域の事情や組織の実状がわかる職員がいると、発災直後からの迅速的確な支援に結びつきます。また、市民相互交流により友好の基礎があると災害ボランティア活動も円滑に継続されます。このような関係性をすぐに十分に構築することは困難ではありますが、黒船祭や多種のイベントに参加いただく、観光に来訪いただく、私達もフラワー都市交流や萩市、沼田市のイベントに積極的に参加することで、楽しい関係、顔の見える関係を一つ一つ作っていくことが必要です。まずは今回の黒船祭にお見えになる皆様を心からお出迎えし、おもてなしをしていきましょう。

下田市長 楠山俊介